



新成人へ激励の言葉をかける長谷川さん

**自信と勇気と希望を持って  
自分の道を行ってほしい**

式辞の中で景山町長は「これから皆さんは一人前の大人として扱われ、仕事や恋愛など、一人の大人として決めていかなければなりません。自信と勇気と希望を持って自分の道を行って行ってください」「今日は70回目の終戦の日でもあります。戦争が風化していく中で、これからも平和が続くよう皆さんも考えながら暮らしてほしい」と語りかけ、「まずは10年先を見据え、一日一日を積み重ねながら成長して行ってほしい」と激励しました。

また、小学校と中学校時代の恩師として、古都真由美さん、高塚庸子さん、西村貴世志さん（以上、根雨小学校）、長谷川みゆきさん、足立あつ子さん（以上、日野中学校）の5人が出席。長谷川さんは「人生は

細田さんはその中で「現在、私は医師を目指すため、大学へ通っています。大学での勉強はとも大変ですが、今頑張っているのも大学に入学できたのも、家族や周りの人たちの支えがあったからです」と話し、「友だち、先生、地域の人たち、そして家族、良い出



誓いの言葉を述べる石田さん

常に勉強。良いこと悪いこと、一つ一つに責任が発生します。友人、家族、地域の人たちからいろいろ学んでください。私は皆さんの応援団です。一緒に頑張っていきましょう」と、新成人へ心のこもったメッセージを送りました。

**家族、仲間、地域の人たちへ  
新成人代表あいさつ**

新成人を代表して、石田英明さん（下榎）と細田早都さん（根雨）がいさつし、これまで育ててくれた家族や恩師への感謝の言葉や誓いの言葉を述べました。



楽しかった給食を思い出しながら

**今を頑張れるのは  
みんなとの出会いがあったから**

式典終了後は、山村開発センターで懇親会が行われました。懇親会で

また、石田さんも「小中学校時代に過ごした日々は楽しく今でも忘れられません。みんなとの絆をいつまでも忘れずに、これからもそれぞれの目標に向かって進んでいきたい」と誓いを述べました。

式典の最後は、出席者全員で町民憲章の唱和と町民歌「きらりこの町」を歌い、盛大に締めくくりました。



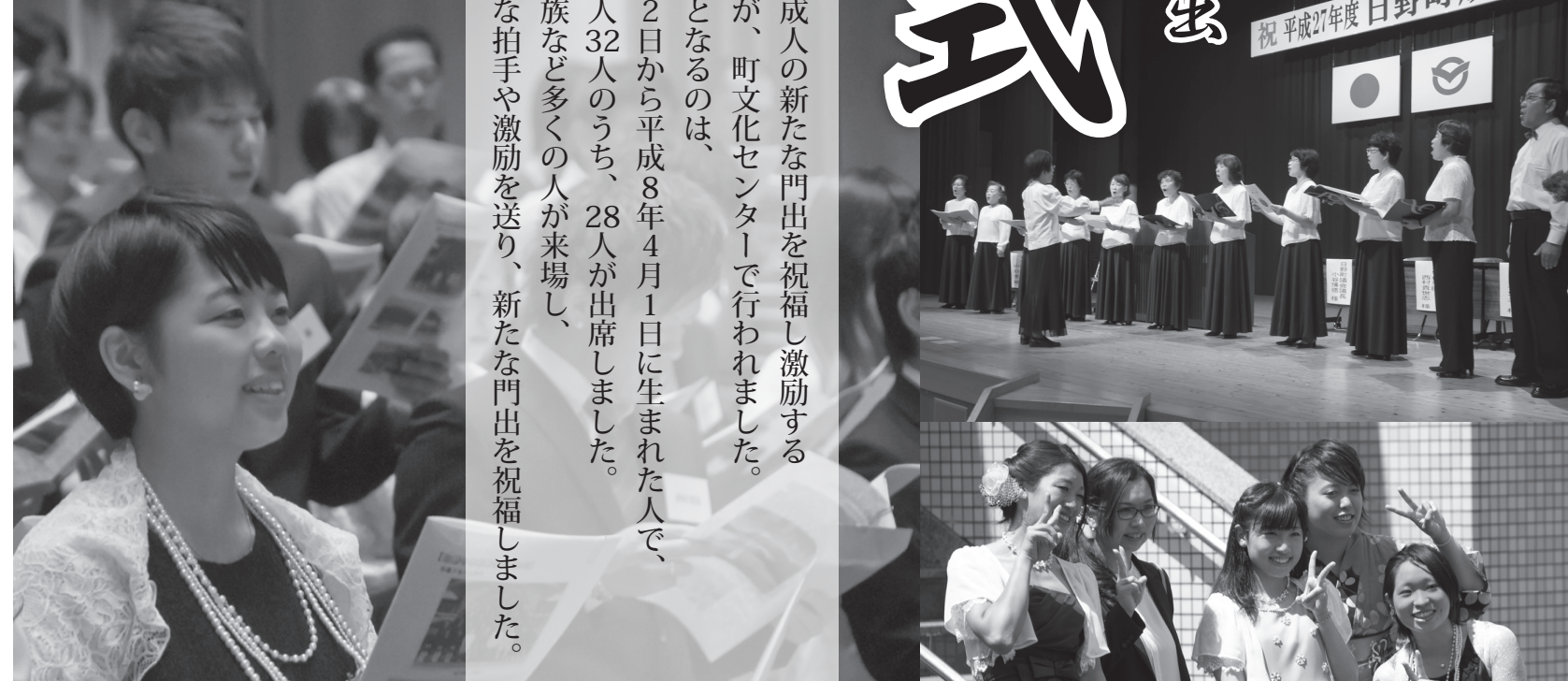
近況報告や将来の夢・目標をみんなに披露

は、懐かしい学校給食を囲みながら、恩師や仲間たちとの懐かしい思い出話に花が咲きました。

また、石田英明さんと西村安奈さん（貝原）の司会でそれぞれの近況報告を行いました。

新成人からは「県外で飲料水メーカーで働いている」「地元を離れてみて、地域の仲間の大切さを感じた。社会の厳しさを感じながらも充実感でいっぱい」といった社会人として一歩を踏み出しているといった報告や、「子どものころからソフトテニスをやってきたので、将来は地元に戻って体育の先生になりたい」といった将来の夢に向かって歩き出していることなどが語られ、みんな熱心に聞いていました。

最後まで話は尽きないながらもそれぞれの地での活躍と再会を誓い合っていました。



# 成人式

決意を胸に、新たな門出

8月15日、新成人の新たな門出を祝福し激励する日野町成人式が、町文化センターで行われました。今年度新成人となるのは、平成7年4月2日から平成8年4月1日に生まれた人で、当日は、新成人32人のうち、28人が出席しました。会場には、家族など多くの人が来場し、新成人へ大きな拍手や激励を送り、新たな門出を祝福しました。